

# 臨床検査医学

教授 檜原 真二  
Shinji Narahara

## 現在の研究テーマと内容

1. 生活習慣病と遺伝子変異について
2. HEV抗体測定キットの開発

1. 肥満、高血圧等の生活習慣病は、食事、運動等の環境因子と遺伝因子の二つの要因の影響を受けている。生活習慣病を含め多くの病気に関連している遺伝子が明らかにされつつあるが、当室では $\beta$ 3-AR等の遺伝子変異と肥満、臨床検査値との関連等の解析を行っている。

2. E型肝炎は発展途上国に存在するウイルスであり、本邦では輸入感染症としてのみ散発発生すると認識されていたが、E型肝炎抗体がイノシシなどの野生動物にも見られ人獣共通感染症であることが明らかにされた。当室ではHEV-RNAの検出法とI・C法によるE型肝炎抗体測定キットの開発検討を行っている。

## これまでの研究成果と今後の展開

1. 脂肪細胞から産生・分泌されるさまざまな生理活性物質の総称であるアディポサイトカインと $\beta$ 3-AR、UCP1、CETP遺伝子等の関連解析を行う。
2. HEV-RNAの検出法に関してはほぼ確立した。抗体検出法については遺伝子工学的手法にて発現させ、臨床検査で用いられるI・C法による抗体検出測定試薬の開発を行う予定である。

## 大学院を目指すみなさんへメッセージ

1. 現在まで行っているヒト遺伝子解析については、前任校(鹿児島大学病院)との共同研究であり、今後は学内、共同研究先施設(病院)の倫理審査委員会承認を必要とするため、予定通り行えるか不明である。
2. routine（臨床検査）での疑問点等を遺伝子学的に解析したいと考えています。現在のテーマのみではなく、その点からの社会人学生を歓迎致します。